

令和4年度 収支予算書



社会福祉法人 綾町社会福祉協議会

令和4年度事業計画

1 目標

- 「思いやりと温もりのある地域福祉の町づくり」
- 「自立と連帯でともに支え合い・助け合う地域づくり」
- 「だれもが安心して暮し続けることのできる地域づくり」

2 基本方針

少子高齢化が進む中、IT社会の発展により人の暮らしも大きく変化し、その結果、人と人とのつながりはさらに希薄化し、それとともに家族や地域を取り巻く環境も多様化・深刻化し、生活困窮や社会的孤立、子どもの虐待等が社会的に問題となっております。また、毎年のように、地震や台風、豪雨等の自然災害が多発しており、未曾有の被害に見舞われています。さらには、新型コロナウイルスも変異株による感染拡大も3年目を迎え、依然と収束に至っておりません。その影響は、経済活動などあらゆる分野に及び、多くの生活困窮者の増加となっております。

こうした状況下における社会福祉協議会の果たす役割とその責務がこれまで以上に必要とされるものと思われます。そのため、行政及び民生委員児童委員との連携を深め、生活困窮者や高齢者等への外出支援などの日常生活の支援に積極的に取り組んでまいります。

また、災害時には災害ボランティアセンターの設置が求められ、そのための運営を目的とした研修にも引き続き取り組んでまいります。

介護予防事業においては、ミニデイサービス事業「みんなの楽校リアン」と短期集中予防サービス事業「ミラクルジム」は多くの方々に利用していただくように事業の充実を図り、高齢者の引きこもりの解消に取り組みます。

子育て支援につきましては、児童館及び児童クラブ事業を通じて、行政や学校、民生委員児童委員等との連携を図り、児童福祉の推進に努めてまいります。

団塊の世代が全て75歳以上となる2025年が目前に迫っており、今後、地域福祉を推進する立場にある社会福祉協議会の果たす役割は、ますます重要になってくると思われます。関係団体や関係機関と連携した「地域共生社会づくり」を目指した体制を整え、高齢者が健康で長生きできるような生活支援、また地域住民が安心して生活のできる福祉のサービス向上に努めてまいります。

3 重点事項

(1) 地域福祉の積極的推進

- ① 民生委員児童委員との連携強化による福祉ニーズの把握と福祉活動
- ② ふれあいイキイキサロン事業（お達者クラブ）の推進
- ③ 外出支援サービスの拡充
- ④ 生活困窮者等に対する相談支援事業の充実
- ⑤ 法人後見事業及び日常生活自立支援事業の推進（成年後見制度の活用、認知症高齢者、知的・精神障がい者等への金銭管理等生活支援サービス）

- ⑥高年者研修センターの歩行浴プール等の管理運営
- ⑦社会福祉大会及び広報活動による福祉啓発の推進
- ⑧社会福祉団体や関係機関との連携による地域共生社会の構築

(2) 在宅福祉の充実

- ①介護機器の短期貸出しによる在宅介護支援の充実
- ②ケアハウスうるおいの里管理運営の充実（快適な居住環境の提供）
- ③デイサービス事業運営の充実強化と介護予防・自立支援の推進
 - ア 通所介護事業
 - イ 介護予防・生活支援事業
 - ・総合事業
 - ・短期集中予防サービス事業「ミラクルジム」の運営
 - ウ 自立総合支援事業（ミニデイサービス「みんなの楽校リアン」運営）

(3) 福祉団体への活動支援

- ①高年者クラブ組織体制の強化に向けた活動支援
- ②赤十字奉仕団及び遺族会への活動支援
- ③障がい者団体やその他地域における福祉活動団体の活動支援

(4) 児童福祉の推進

- ①行政、学校、保育所、民生委員児童委員等との連携による児童の健全育成と支援
- ②児童館及び放課後児童健全育成事業管理運営による児童福祉の推進

(5) 各種募金活動等の積極的な推進と福祉活動への財源確保

- ①赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の推進
- ②赤十字会員の拡大等による会費の確保
- ③社会福祉協議会一般会員・特別会員の拡大による会員費の確保
- ④共同募金による生活困窮者等に対する緊急時支援用食糧品等の備蓄

(6) ボランティア活動の育成

- ①助け合い支え合う地域共生社会を目指したボランティアセンター活動事業の積極的な推進
- ②高齢者の介護予防・認知症予防への支援（高年者クラブシルバーボランティア、お達者クラブサロンサポーター等の育成支援）
- ③災害ボランティアセンターの設置・運営の研修

(7) 医療・保健・介護・福祉の連携活動

- ①医療・保健・介護・福祉機関等との連携による福祉活動
- ②地域包括ケアシステム構築（共生社会への参画・協働）

(8) 適正な法人経営の運営及び組織体制の充実強化

- ①業務改善による事務効率化と財源の適正な管理執行（持続可能な運営）
- ②職員研修の実施（資質向上とスキルアップ）
- ③福祉人財の育成のための資格取得の支援（キャリアアップ）
- ④持続可能な福祉サービスが提供できる人財の確保（処遇改善）

令和 4年度 資金収支予算書

(単位:円)

1頁

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減額	摘 要
会費収入	1,100,000	1,100,000	0	
寄附金収入	1,100,000	1,100,000	0	
経常経費補助金収入	49,890,000	42,750,000	7,140,000	
受託金収入	82,989,000	81,352,000	1,637,000	
事業収入	1,974,000	1,902,000	72,000	
負担金収入	16,449,000	14,612,000	1,837,000	
介護保険事業収入	48,229,000	48,261,000	△32,000	
みやざき安心セーフティネット事業収入	100,000	100,000	0	
受取利息配当金収入	8,000	8,000	0	
その他の収入	385,000	330,000	55,000	
事業活動収入計(1)	202,224,000	191,515,000	10,709,000	
人件費支出	157,239,000	136,868,000	20,371,000	
事業費支出	37,963,000	37,721,000	242,000	
事務費支出	11,959,000	11,668,000	291,000	
共同募金配分金事業費	1,202,000	1,125,000	77,000	
分担金支出	80,000	80,000	0	
事業活動支出計(2)	208,443,000	187,462,000	20,981,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△6,219,000	4,053,000	△10,272,000	
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
固定資産取得支出	1,000	347,000	△346,000	
その他の施設整備等による支出	1,045,000	0	1,045,000	
施設整備等支出計(5)	1,046,000	347,000	699,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,046,000	△347,000	△699,000	
積立資産取崩収入	2,000	2,000	0	
その他の活動収入計(7)	2,000	2,000	0	
積立資産支出	2,000	2,000	0	
その他の活動による支出	6,495,000	5,796,000	699,000	
その他の活動支出計(8)	6,497,000	5,798,000	699,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△6,495,000	△5,796,000	△699,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△13,760,000	△2,090,000	△11,670,000	
前期末支払資金残高(12)	21,593,000	23,683,000	△2,090,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	7,833,000	21,593,000	△13,760,000	

事業活動収入 202,224,000
施設整備等収入 0
その他の活動収入 2,000
前期末支払資金残高 21,593,000
(前年度繰越金)
合 計 223,819,000

事業活動支出 208,443,000
施設整備等支出 1,046,000
その他の活動支出 6,497,000
当期末支払資金残高 7,833,000
(次年度繰越金)
合 計 223,819,000